

I ヘリコプターによる散水滴の分布測定 (本文1頁参照)



写真1 散水中のセスナ機



写真2 散水中のヘリコプター



写真3 水滴の観測網
白点が沓紙



写真4 水滴観測用の沓紙と台

II 散水法による霧の消散試験 (本文9頁参照)



写真1 搭載したドラム鐘
とノズル (床下)



写真2 散水後に生じた霧
層の穴(7月4日)



写真3 散水後に生じた霧
層の縁に生じた穴
(7月6日)



写真4 散水後霧層に生じた穴
(散水速度の大きな部分) 7月8日

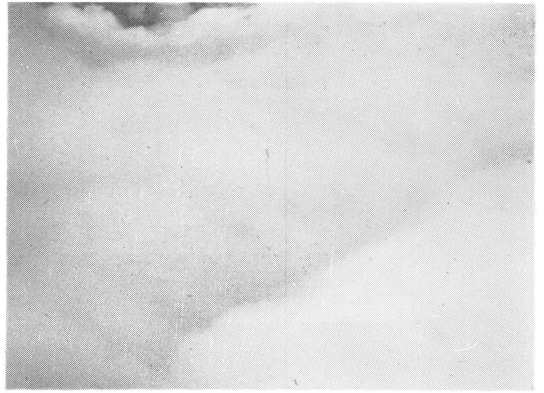


写真5 散水後霧層に生じた溝
(写真4の後半の散水速度の小さな部分) 7月8日

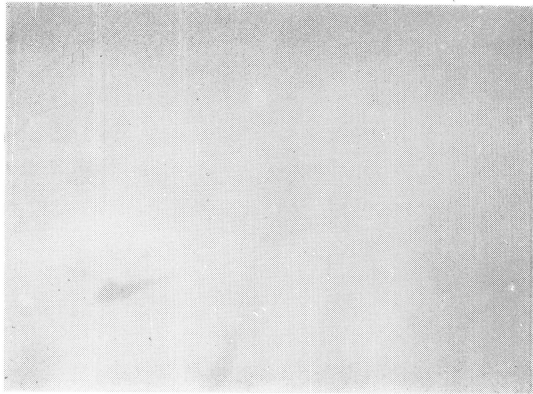


写真6 散水直前の霧頂
左方にヘリコプター(長さ11m)の影がみえる



写真7 散水後2分
霧頂に凹凸が生じた。7月18日

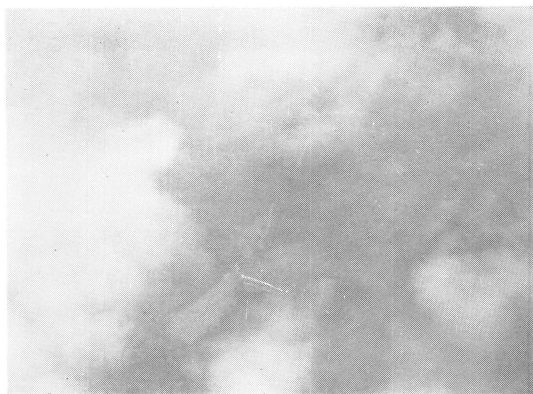


写真8 散水後22分
地物が明瞭に見え始めた。7月18日



写真9 このような優勢な霧では効果は認められな
かった。右上方が樽前山 7月19日